



りえぞん

Liaison
vol.
63

Contents

令和8年5月

- 新年度のごあいさつ — P1
- マネジメント学会に参加して — P3
- 新任・着任のご紹介 — P2
- パープルデー JR奈良駅旧駅舎ライトアップ — P3
- 春の健康祭り開催 — P3

病院理念

私たちは、質の高い医療を提供し、地域の皆様の健康を支援することにより、信頼される病院づくりを目指します。

共に成長し 共に挑戦する



今年度新採用職員（当院敷地内桜の木の前にて）

令和8年度 病院目標

神経・筋疾患、脳疾患、重症心身障害、呼吸器を主たる機能とした「面倒見のいい病院」の機能を高める

医療関係者の皆様へ



「りえぞん」(Liaison)とは、フランス語で「連携・つなぐ」といった意味をもちます。

奈良医療センターは、地域の医療機関との連携を深め地域医療の推進に努めていきたいという思いで名付けました。

〈編集・発行〉

独立行政法人 国立病院機構 奈良医療センター
National Hospital Organization Nara Medical Center





新しい年度を迎えて

国立病院機構奈良医療センター

副院長 玉置 伸二

新緑の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。新年度を迎えるにあたり、ご挨拶申し上げます。副院長の玉置と申します。私は昨年10月より当院の地域医療連携室の室長を拝命しており、本来であれば直接皆様にご挨拶に伺わないといけないところですが、今回は紙面にて失礼致します。

当院では4月4日に、地域の六条校区まちづくり協議会との共催で「春の健康まつり」を開催することができました。当日はあいにくの天気とはなりましたが、多くの地域住民の方々と交流することができました。本当に嬉しい気持ちで一杯です。4月1日には新採用・転任者として40名の新しい職員を迎えることができました。院内に新しい風を運んでくれることを期待しています。

さて、2026年度は医療界にとって大きな転換点となります。本年度の診療報酬改定では2040年頃を見据えた、より具体的な医療機関の機能分化、地域医療連携が求められています。また医療DXやイノベーションの推進などによる安心・安全で質の高い医療を実現する必要性も強調されています。一方でわれわれは急速な高齢化に伴う疾患構造の変化にも直面しています。

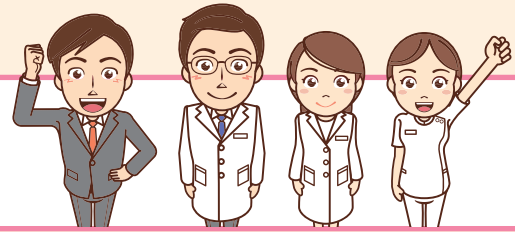
このような荒波の中、当院が掲げる令和8年度の基本方針は、『神経・筋疾患、脳疾患、重症心身障害、呼吸器を主たる機能とした「面倒見のいい病院』』となっています。私たちは政策医療の担い手として、他の医療機関では代替できない専門性を磨きつつ、地域の先生方が「ちょっと困ったな」と思われた際に、真っ先に頭に浮かぶような存在でありたいと考えています。

具体的には、「奈良県てんかん支援拠点病院」、「奈良県アレルギー疾患診療科別支援病院」、そして「奈良県難病診療専門支援病院」としての役割をさらに強化してまいります。脳神経や呼吸器の症状などでお困りの症例がございましたら、是非ご紹介頂ければ幸いです。また本年度からは「奈良市における健康寿命延伸を目指した新たなCOPD対策」に積極的に協力していく予定です。呼吸器疾患の分野でも地域医療のさらなる発展と地域の皆様の健康寿命延伸に貢献していく所存です。

今年度も、地域の医療機関・介護事業所の皆様とより深く連携し、地域包括ケアシステムを支える存在でありたいと思います。今後とも奈良医療センターをどうぞよろしくお願い致します。



✓ 新任・着任のご紹介



薬剤部長 山下 大輔

本年4月より薬剤部長として着任いたしました。これまで、兵庫県・京都府・大阪府で勤務してきましたが、奈良県での勤務は初めてとなります。当院の薬剤部では、最新の知見とシステムを効果的に運用し、より安心して安全な薬物療法を提供できるよう努めてまいります。地域医療の現場では、継ぎ目のない「薬業連携」が不可欠です。退院時の薬剤情報の共有や外来でのフォローアップなど、地域の先生方や薬剤師の皆様と共に、患者様一人ひとりに最適な医療を追求していく所存です。顔の見える連携を大切にして参りますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

臨床検査技師長 安達 名緒子

このたび2026年4月1日付で、臨床検査技師長として着任いたしました、安達 名緒子と申します。これまで主に臨床検査部門において、検査の質と安全性の確保、迅速かつ正確な検査提供、ならびに人材育成に携わってまいりました。奈良医療センターでは、チーム医療の一員として各部署と連携を図りながら、質の高い検査体制の構築に努めるとともに、地域医療に貢献できる検査部門を目指してまいります。地域の医療機関との連携や、皆さまの健康を支える役割を意識し、信頼される検査科として、微力ながら尽力したいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



看護部長 上蘭 恵子

4月1日付で看護部長に着任いたしました、上蘭 恵子（うえその えみこ）と申します。奈良医療センターでの勤務は初めてのため、まだ院内で迷うこともあります。職員の皆様の「面倒見の良さ」に日々支えられています。医療を取り巻く環境は厳しい状況が続いていますが、前向きに取り組み、奈良医療センターのさらなる発展のため、皆様と共に努力してまいりたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

療育指導室長 佐村 知哉

この度、国立病院機構紫香楽病院から人事異動してまいりました療育指導室長の佐村と申します。宜しくお願ひ致します。国立病院機構（旧国立療養所）に入職して26年目となりますが、そのうちの17年間を奈良医療センターで勤務させて頂いており、自分自身にとって、思い入れの強い病院で勤務できることを非常に嬉しく思っております。少しでも重い障害がある方々に対して、適切な福祉サービスが提供できるよう尽力してまいりたいと考えておりますので、今後とも宜しくお願ひ致します。



小児神経科医師 杉村 憲市

このたび、4月1日付で八尾市立病院より異動し、当院に勤務させていただくこととなりました。これまで急性期医療において、急性期患者の治療および全身管理に携わってまいりました。重症心身障害児者の皆さまと接するのは久しぶりとなりますが、長期的かつ包括的に関わる医療の重要性を改めて認識しております。当院の方針である「面倒見のいい病院」のもと、患者さんやご家族にとってよりよい医療を提供できるよう努めてまいります。急性期医療で培った経験を活かしながら、生活に寄り添う医療の実践に尽力してまいります。至らぬ点もあるかと存じますが、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



「マネジメント学会」に参加して



日本医療マネジメント学会に事務部門より参加しました。初めての参加でしたが準備や模擬発表にあたり多くの方々へ助けをいただき、無事に当日を迎えることができました。発表では当院における「医療機器の更新・導入」について、その基準や手順を紹介しました。当日は大変緊張しましたが、本経験を通じて多くの学びを得ることができました。今後も医療ニーズの高まりと厳しい経営状況の双方を踏まえながら、病院全体の将来を見据え必要な医療を守る仕組みづくりに取り組んでいきたいと思っております。

契約係長 横道 なぎさ

パープルデー

JR奈良駅旧駅舎ライトアップを実施しました。

令和8年3月26日、てんかんの世界的な啓発の日「パープルデー」に合わせ、奈良県てんかん支援拠点病院である当院は、JR奈良駅旧駅舎を紫色にライトアップしました。日没から21時まで、歴史あるJR奈良駅の旧駅舎が幻想的なパープルの光に包まれました。また、パープルデーグッズの配布を行い、多くの方々にてんかんへの理解・啓発を伝える機会となりました。来年度も引き続き本イベントを実施し、地域の皆さまとともにてんかんへの理解を深め、患者さんが暮らしやすい社会づくりに貢献してまいります。

専門職 乾 直樹



春の健康まつりを開催しました

専門職 乾 直樹

令和8年4月4日(土)、あいにくの雨模様ではありましたが桜が美しく咲き誇る中、六条校区まちづくり協議会との共催により、大会議室及び外来待合スペースにて実施しました。外来待合スペースでは、身長体重測定、握力測定、血管年齢測定、骨密度測定、栄養相談、お薬相談を実施しました。大会議室では、永田院長の挨拶、田中内科医師による「睡眠時無

呼吸症候群に関する健康講座」が行われました。その後、六条校区まちづくり協議会による催し物へと移り、同協議会からのご挨拶を皮切りに、大正琴演奏、六条大学校弦楽合奏、手品、南京玉すだれ、落語など多岐にわたる演目が披露されました。参加された皆様からは、「健康講座が楽しかった」というお声や、定期開催を希望されるご要望を数多くいただきました。

